

# 安全マニュアル 2（臨海丸）

2020年11月1日改訂

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所（採集室）

## 1. 乗船にあたって

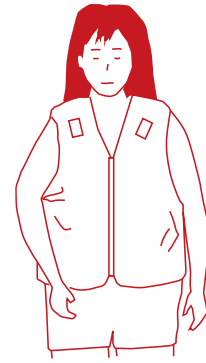
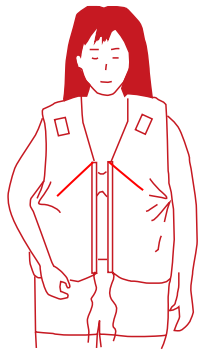
- ・乗車可能人数（臨海丸：21名）は必ず守っていただきます。
- ・乗船にあたっては**技術職員の指示に従ってください**。
- ・船に酔いやすい人は乗船30分前には酔い止めを飲むなど各自で対策してください。
- ・乗船の前日は早めに休み、深酒などしないでください。二日酔いでの乗船は禁止です。

## 2. 気象・海況等の確認

- ・臨海丸の当日の出航については、気象・海況によって可否を決めます。最終判断は採集室にて行いますが、各自インターネットなどで情報を入手しておいてください。

## 3. 服装

- ・怪我防止のため長袖長ズボンなど肌の露出を少なくし、船上で作業をする場合は軍手などを着用してください。（海況によっては波飛沫で濡れる場合があります。濡れてもよい服装もしくはカッパを着用してください。）
- ・長靴や運動靴などの滑りにくい履物を履いてください（踵の無いサンダルなどの履物での乗船は禁止しています）。
- ・夏季は熱中症対策（帽子、タオル、飲み水、日焼け止め等）、冬季は防寒対策をしてください。
- ・ヘルメットを被ってください。臨海丸には様々な機器を搭載しています。Aフレームなどから頭部を保護するために必ず着用いただきます。ヘルメットは臨海丸にあります。乗船したら被ってください。
- ・ライフジャケットを着用してください（図参照）。ライフジャケットは、教育棟実習室2にあります。



- ① 腕を通して着用し、胸元の紐を結ぶ。左右のバックルでサイズを調節する
- ② ファスナーを閉じ、すそ締めロープを結ぶ
- ③ 結んだロープを内側に押し込む

#### 4. 乗船中の注意

- ・船のバランスを考えて左右均等に着席してください。
- ・船首や船尾に近づかないでください。航行の妨げになることがあります。
- ・船のへり（縁）に腰掛けしないでください。船が揺れたときに、船外に投げ出されることがあります。
- ・走行時はみだりに動き回らないでください。
- ・技術職員がウインチ等を動かす作業の時は、巻き込まれる恐れがあるのでその周辺には近づかないでください。
- ・船内は禁煙です。
- ・海にゴミを捨てないでください。
- ・危険な動物に注意してください。万一受傷した場合は、速やかに病院へ行き医師の診察を受けてください。

##### 1) ハオコゼ…[図 1]

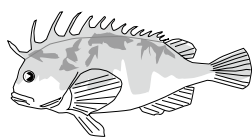
赤い形魚で、背びれ・腹びれ・尻びれに毒棘が並ぶ。

##### 2) ハチ…[図 2]

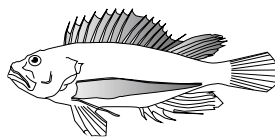
ハオコゼと同様、ひれに注意する。

##### 3) シドロガイ…[図 3]

強靱な蓋の外縁にある鋸歯で切り傷を負い、出血する。



[図 1] ハオコゼ



[図 2] ハチ



[図 3] シドロ

この他にも、ドレッジでは、オーストンフクロウニやガラスカイメン類が採集されます。このウニは毒棘を持ち、ガラスカイメンはガラス質の骨片を持っているので、素手では触れないでください。

★緊急連絡先★

- ・ 臨海実験所事務室：046-881-4105
- ・ 採集室：046-881-4107
- ・ 東京大学理学部地区防災センター：03-5841-8299
- ・ 三浦市立病院：046-882-2111